

-----  
ピースボート地球大学通信：第 55 号

-----  
2018 年 06 月 18 日発行

みなさん、こんにちは。日頃よりピースボートの活動にご協力、ご支援いただきましてありがとうございます。『ピースボート地球大学通信』は、ピースボートが洋上でおこなっている平和教育活動や、陸上での関連活動について定期的にご紹介している通信です。お知り合いの方や学生さんに転送していただいても構いませんので、どうぞご活用ください。

-----  
■ 今回の内容

- ( 1 ) 第 98 回地球一周の船旅で地球大学を実施中です
- ( 2 ) 第 99 回地球一周の船旅で地球大学特別プログラム（英語）を開催します
- ( 3 ) ノーベル平和賞のメダルを携えて第 98 回地球一周の船旅が航行中です
- ( 4 ) 第 99 回地球一周の船旅で訪れる国々に届ける支援物資を集めています
- ( 5 ) 2017 年夏の福島子どもプロジェクトの報告を掲載しました
- ( 6 ) 6 月 7 月のピースボートイベントのラインアップ
- ( 7 ) 朝鮮半島の非核化に核兵器禁止条約を生かせ - ICAN に関わる活動

- 
- ( 1 ) 第 98 回地球一周の船旅で地球大学を実施中です

現在ヨーロッパを航海中の第 98 回ピースボート地球一周の船旅では「平和で持続可能な世界をつくる教育」をテーマとして「地球大学」を実施しています。受講生は船内で日々、講座やワークショップ、ディスカッションを通して学びを深めています。ピースボートのウェブページでは地球大学生が体験した『世界がもし 100 人の村だったら』を題材にしたワークショップの様子を紹介しています。世界の人口や識字率、貧富の差などを実際に体験しながら理解を深めるものです。地球大学はこのような積極的な学びの雰囲気にあふれています。

▼詳細はこちらをご覧ください。

[http://www.pbcruise.jp/report/98th/onboard/100\\_1.html](http://www.pbcruise.jp/report/98th/onboard/100_1.html)

▼第98回地球一周の船旅で開講中の地球大学のテーマなどについてはこちらからご覧ください。

<http://peaceboat.org/19805.html>

## (2) 第99回地球一周の船旅で地球大学特別プログラム(英語)を開催します

英語で学ぶグローバル人材育成のための「地球大学・特別プログラム」を今年は第99回地球一周の船旅のアジア区間(広島～厦門～シンガポール～シエムリアップ～プノンペン)で開講します。8月31日から(金)から9月18日(火)の19日間の日程で、テーマは「ともに築くアジアの平和」です。ナビゲーター(講師)には東京外国語大学教授の伊勢崎賢治さんやシンガポールの移民労働者の問題に詳しいフリーランスライターのジョン・ジーさんなどをお迎えし、4カ国5都市で平和や持続可能性についてアジア各国から集まる学生が学び、課題解決に向けたアクションを考えます。

▼詳細はこちらをご覧ください。(応募の受付は終了しています。)

<http://peaceboat.org/23230.html>

## (3) ノーベル平和賞のメダルを携えて第98回地球一周の船旅が航行中です

ピースボートでは、世界各地で被爆者とともに核廃絶を訴える「ヒバクシャ地球一周 証言の航海(通称:おりづるプロジェクト)」を実施してきました。現在航行中の第98回地球一周の船旅でも、ノーベル平和賞のメダルと賞状を船に載せ、広島・長崎の被爆者とともに各寄港地で核兵器廃絶を呼びかけています。これまで寄港したシンガポールやスリランカでは外務省を訪問し、核兵器禁止条約への加盟を呼びかけました。また6月6日(水)のアテネ入港時には、ギリシャのアレクシス・チプラス首相との面会が実現しました。

▼詳細はこちらをご覧ください。

<http://peaceboat.org/23173.html>

▼プロジェクトの最新情報はブログでもご覧になれます。

<https://ameblo.jp/hibakushaglobal/>

## (4) 第99回地球一周の船旅で訪れる国々に届ける支援物資を集めています

ピースボート UPA 国際協力プロジェクトでは、個人、企業、自治体から提供いただいた

物資を世界各地へ直接届け、「顔の見える支援」を行っています。また、各国のNGOや市民団体との連携・自立を促す活動を続けています。現在、第99回の地球一周の船旅で訪れるジャマイカおよびハワイへ届ける物資を募集しています。募集をしているのは文房具、衛生用品、手芸用品、楽器、日本文化品、子ども用玩具、リュックサック、スポーツ用品などです。

▼詳細はこちらをご覧ください。

<http://peaceboat.org/23380.html>

#### (5) 2017年夏の福島子どもプロジェクトの報告を掲載しました

ピースボートは、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンターとともに2011年から「福島こどもプロジェクト」を実施してきました。このプロジェクトは、震災の影響が続く福島の子どもたちに、保養と国際交流の体験を通して夢と健康を届けることを目的としています。2017年夏の報告をウェブサイトに掲載しました。今回は福島県南相馬市から中高生11名が参加。「思い切り遊び、思い切り学び、平和を作る担い手の1人になってもらいたい」というコンセプトのもと、多くの異文化交流を経験しました。

▼詳細はこちらをご覧ください。

<http://peaceboat.org/23423.html>

#### (6) 6月7月のピースボートイベントのラインアップ

6月20日(水) 19:00~ 『トランジションタウンとは?~身近なところから始める持続可能な暮らし』 (講師:榎本英剛さん) 【場所:ピースボートセンターとうきょう】

6月27日(水) 19:00~ 『ハンセン病 その歴史と実情~療養所に通って見えたこと~』 (講師:延総史さん) 【場所:ピースボートセンターとうきょう】

6月30日(土) 19:00~ 『平和交響曲~世界中の子どもたちの描いた絵に音と命を吹き込む~』 (講師:宇井孝司さん) 【場所:ピースボートセンターおおさか】

7月4日(水) 19:00~ 『平和交響曲~世界中の子どもたちの描いた絵に音と命を吹き込む~』 (講師:伊高浩昭さん、アドリアン・ゴディネス) 【場所:ピースボートセンターとうきょう】

#### (7) 朝鮮半島の非核化に核兵器禁止条約を生かせ - ICANに関わる活動

ピースボートは、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のノーベル平和賞メダルと賞状を世界一周&全国出張させることを発表しました。昨年成立した核兵器禁止条約を生かして、核廃絶への機運をさらに盛り上げていくためです。また、6月12日(火)にシンガポールで行われた史上初の米朝首脳会談に際しては、ICANの国際運営委員を務める川崎哲がベアトリス・フィン事務局長とともに現地入りし、記者会見を行うなど、ICANの国際運営団体として精力的に活動を続けています。ピースボートは引き続きこの機運を朝鮮半島、そして世界の非核化に生かしていきます。

▼ICAN ノーベル平和賞メダル、地球一周&全国出張します

<http://peaceboat.org/23047.html>

▼米朝首脳会談から「非核の新時代」の幕開けをーシンガポールで ICAN が発信します

<http://peaceboat.org/23527.html>

▼朝鮮半島の非核化に核兵器禁止条約を生かせ - ICAN に関わる活動が広く報道されました

<http://peaceboat.org/23489.html>

\*\*\*\*\*

地球大学通信 55 号：2018 年 06 月 18 日発行

発行者：ピースボート地球大学事務局

連絡先：univ@peaceboat.gr.jp

住所：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

電話：03-3363-7561 Fax：03-3363-7562

ホームページ：<http://peaceboat.org/home.html>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/pbglobaluniversity/>

※このメールマガジンへの感想・コメント、アドレスの変更、また、当通信が不要な場合などは、お手数ですが地球大学事務局(univ@peaceboat.gr.jp)までメールでご連絡ください。